

♪ ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

6月に宇久井半島で見られるなかまたち！



「タマムシ科 アオマダラタマムシ」
体長 16-29mm。サクラやツゲなど枯木に集まる。青緑色で金属光沢があり、上翅全体に黄白色の小紋が並ぶ。



「カミキリムシ科 タテジマカミキリ」
体長 17-24mm。カクレミノやヤツデなどに集まり、成虫は頭を下にして枝にしがみつぎ越冬する。



「タテハチョウ科 ルリタテハ」
開帳 50-60mm の中型の蝶。花にはあまり訪れずクヌギなどの樹液を好む。成虫越冬する。



☆「ヤマモモ科 ヤマモモ」☆
低地や山地に自生する常緑高木。果実は甘酸っぱくて美味しいが長持ちしない為、果物としての流通はない。



「アカネ科 クチナシ」
常緑低木。ジンチョウゲ、キンモクセイと並んで三大香木として親しまれるほど甘い香りを漂わせる。



「キョウチクトウ科 シタキソウ」
常緑つる性の多年草。日本特産で海岸沿いの林下に生える。強い芳香を放つ。



「キョウチクトウ科 テイカカズラ」
つる性の常緑低木。温暖な地方の林下や岩場に生える。花はプロペラ状で、白色から次第に淡黄色になる。



「バラ科 テリハノイバラ」
日当たりのよい河原や海岸などに多い落葉低木。日本ではノイバラに次ぎ多い野生のバラである。



「キシメジ科 シイノトモシビタケ」
シイの朽木に生息する光るキノコ。かさの直径は約 1-3cm。自然塾で毎週土日に観察会を行っている。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くこともできますよ♪

梅雨入りし新緑の木々が生き生きしていますね。晴れ間に梅雨ならではの動植物の観察や企画展「熊野の花々」にもぜひお越し下さい(^0^)/

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

宇久井ビジターセンター
2019年6月後半号



吉野熊野国立公園 宇久井半島見どころマップ 夏版

＜散策時間の目安＞

- ビジターセンター～地玉の浜コース (片道約25分)
① → ② → ④ → ⑤ 約700m
- ビジターセンター～駒ヶ崎灯台コース (片道約30分)
① → ② → ③ 約900m
- ビジターセンター周回コース (一周約40分)
① → ② → ④ → ⑥ → ① 約1200m
- ビジターセンター～千尋の浜コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑧ 約1200m
- ビジターセンター～外の取コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑨ 約1200m



凡例

- 駐車場
- あずまや
- 案内板
- 展望地
- 水道
- お手洗い
- 自動販売機
- 車道
- 舗装路
- 林内の遊歩道
- 階段